



目 次

令和7年度第3回理事会開催 3

第13回通常総会のご案内 4

税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業

 新設法人説明会・小学生の税に関する作文コンクール 他 5

地域の経済社会環境の整備改善等を図る事業

 新春講演会・学校へ書籍の寄贈 8

会員交流及び会員支援のための事業

 異業種交流会 9

女性部会だより

 租税教室 10

 女性部会主催 講演会 13

 税に関する絵はがきコンクール入賞作品 14

青年部会だより 16

熊本東税務署長の横顔 17

税務署だより 18

熊本県県央広域本部・熊本市だより 21

支部だより 23

特集

 社内で好感の持てる マナー・エチケット術 24

事務局だより 26

絵はがきコンクール最優秀作品 28



●表紙の作者紹介●

おかむらわかな
岡村和奏

熊本中央高等学校
芸術創造コース 2年

〔コンセプト〕

季節に合わせてオオルリを描きました。青い鳥であることから、背景には春の芽吹きを表現するために淡い緑色を用いました。4月は新しいスタートの季節でもあるため、オオルリが飛び立つ瞬間を描きました。

発行所

〒860-0802 熊本市中央区中央街3番8号
熊本大同生命ビル2階
公益社団法人 熊本法人会
会 長 竹下 英
広報委員長 安武 洋一郎
TEL (096) 353-2555
FAX (096) 353-2556



ホームページアドレス
<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/kumamoto/>

令和7年度第3回理事会開催

開催日：令和8年3月12日(木) 時間：10時00分～12時00分
場 所：ホテル熊本テルサ 「たい樹」

3月12日(木)、ホテル熊本テルサにおいて、公益社団法人熊本法人会の令和7年度第3回理事会を開催しました。税務当局の来賓及び会員企業から52名の役員の出席がありました。竹下会長は、理事会の冒頭で以下の挨拶をされました。

ご来賓の皆様、役員皆様には、大変ご多忙の中にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

令和7年度の熊本法人会の活動につきましては、皆さん方のご協力をいただきながら、事業計画に沿った様々な活動を行って参りました。

「税制改正の提言活動」を始め、会員の皆さまを対象にした「木曜教室の開催」、地域社会に対しては、「租税教室」、「小学生の税に関する作文コンクール」「絵はがきコンクール」などの税の啓発活動、そして、会員の垣根を超えた、「講演会」、「学校への図書寄贈」などの社会貢献活動、こうした様々な事業を、会員の皆さまのご協力をいただきながら、実施することができました。

会員の皆さま、活動をご支援いただきました税務ご当局の皆様方に、心より感謝を申し上げます。

また、本年度から「健康経営委員会」を立ち上げ、健康経営に取り組む背景や意義のほか、財政健全化のための健康経営の取組の周知活動等を重点的に行ってまいりました。現在、熊本県の課題となっている交通渋滞解消に向けて、法人会としても、歩調を合わせて推進していくこととし、「熊本県・渋滞対策・パートナー登録制度」への登録を踏まえ、会員の皆さまへのご理解、ご協力を呼び掛けているところです。今後も、皆様方のご理解をいただきたいと思います。

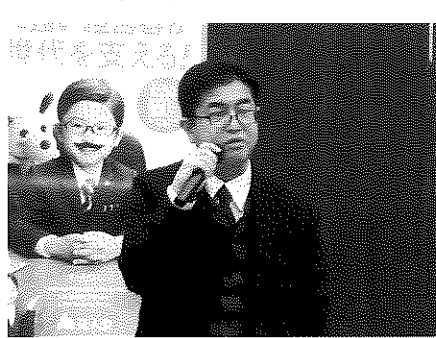
今年も確定申告の時期を迎えています。「e-Taxの普及」を含めた「デジタル化」については、国税当局のご説明によると、法人組織のキャッシュレス納付割合は、まだまだ低調のようです。会員企業の皆様には、「キャッシュレス納付の推進」、特に「源泉所得税のキャッシュレス納付の推進」につきまして、一層の、ご理解・ご協力をお願いいたします。

熊本法人会には、変わらないテーマがあります。それは、会員相互の意思疎通を図りながら、会員が一体となり、何よりも“楽しく”会の運営を行っていくことです。役員の皆様には、引き続き、熊本法人会の活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。

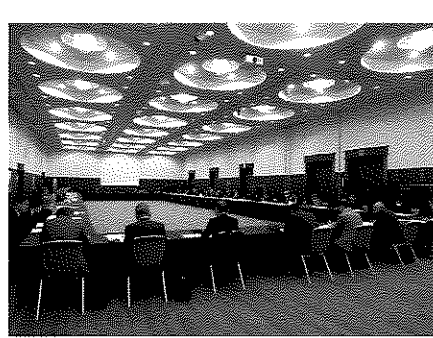
今回の議案の柱は、令和8年度事業計画(案)、収支予算(案)であり、このほか、通常総会の日程(案)、並びに規程の一部改定(案)の承認の件の承認の件なども併せて、全ての議事が承認されました。また、業務執行報告として、各専門委員会の委員長と青年部・女性部会長から、この1年に取り組んだ事業の報告が行われました。



竹下会長のあいさつ



熊本東税務署・黒木統括官のあいさつ



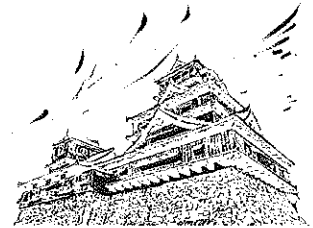
理事会の様子

第13回 通常総会のご案内

開催日：令和8年6月4日(木) 時間：14時00分～19時30分(予定)
場 所：ホテル日航熊本 阿蘇

◆第13回通常総会スケジュール

- ・記念講演会 14時00分～15時00分
講 師：熊本城調査研究センター所長 岩佐康弘 氏
テーマ：蘇る熊本城と新たな魅力(仮)
- ・通常総会 15時15分～17時15分
議 題：令和7年度事業報告、令和7年度収支計算報告(ほか)
- ・交流会 17時30分～19時30分



◆総会の決議に関するお願い

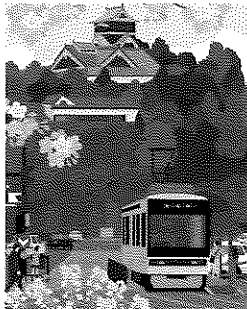
- ・ご案内状を4月下旬に発送しますので、ご出欠回答のご返送をお願いします。
- ・総会の議決は、会員の「2分の1」の出席が必要ですので、ご出席をお願いします。
- ・ご欠席の場合は、委任状にご記入の上、期日までにご返送下さい。

市電緑のじゅうたんサポーター制度感謝状の拝受

開催日：令和8年3月4日(水) 時間：15時15分
場 所：熊本市役所 5階秘書課「庁議室」

地球温暖化は世界的な問題の一つになっています。熊本市は中心市街地に新たな緑を創出するために市電の軌道敷を緑化する「市電緑のじゅうたん事業」に取り組んでいます。九州新幹線の玄関口となる熊本駅から田崎電停までの区間のほか、辛島町から水道町電停にかけても徐々に進められています。

本会は、社会貢献活動である環境保全活動の一環として「市電緑のじゅうたんサポーター制度」に協賛しており、熊本市長から感謝状が贈呈されました。



感謝状の贈呈



大西市長と稲葉副会長

県下単位会事務局専務理事等会議の開催

開催日：令和7年12月16日(火) 時間：13時00分～17時00分
場 所：熊本大同生命ビル 3階会議室

熊本県法人会連合会主催の県下単位会事務局専務理事等会議・研修会が、熊本大同生命ビル会議室において開催され、専務理事及び事務局職員が参加しました。

当日は、会議に先立って、健康経営研修が行われ、今後、健康経営事業のひとつとして推奨していく「モルック」(フィンランド発祥のゲーム)を体験しました。

会議では、県連事務局の杉本専務理事から、全国県連専務理事等会議の周知・報告のほか、財政健全化のための健康経営プロジェクトの取組、アンケート調査システムの登録状況、会員増強と福利厚生制度の推進、などについて説明がありました。また、「金融リテラシー」に関する研修会として、金融経済教育推進機構作成の動画の視聴が行われました。

このほか、福利厚生制度推進会議が行われ、福利厚生制度の推進状況や受託保険3社からの連絡・周知及び意見交換が行われました。

税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業

「新設法人説明会」の開催

事業名：新設法人説明会
 開催日：令和7年12月9日(火)
 場 所：くまもと県民交流館パレア
 参加者：73社90名



木下組織委員長のあいさつ



榎本審理専門官の説明

熊本西及び熊本東税務署管内において、令和6年8月～令和7年6月までに設立された法人800社を対象に、法人として事業活動を行うに当たり、会計帳簿の作成や帳簿書類の保存、税務上の申告や納税など基本的事項に関する説明会を開催しました。税務当局との共催事業で、9回目となる本年度は、受付時では73社90名の申込みがありました。

全法連監修のDVD「新設法人の知っておきたい税務」等の上映のほか、熊本西税務署の榎本審理専門官を講師に迎え「会社の税金ガイドブック」をテキストに、説明会が進められました。また、木下組織委員長から法人会入会メリットなどの説明がありました。



小・中学生を対象にネットによる「税金クイズに挑戦」を実施

事業名：税金クイズに挑戦
 問題数：15問(税に関する簡単なコメント欄を別に設定)
 開催期間：令和7年10月1日(水)～令和8年1月15日(木)
 場 所：当会のホームページ(QRコードも併設)



小・中学生を対象に、ネット環境さえあれば、24時間アクセスできる「税金クイズに挑戦」を実施しました。税金クイズの問題15問は、税務当局の監修で作成し、問題のほかに税に対する感想を聞くためのコメント欄を設けました。応募(回答)当たっては、クイズの参加者がインターネット上で回答を送信すると、画面に「正解と解説」の表示が出てくるようにしました。また、問題に挑戦する方法は、熊本法人会のホームページのアイコン、地方紙やパンフレットに貼付した「QRコード」の読み取りからアクセスできるようにしました。

応募には149件のアクセスがあり、そのうち全問正解者は58名(正解率：38.9%)という結果になりました。正解者の中から抽選で20名に商品券・図書券を、また、参加者全員に参加賞としてマスクケースを贈りました。

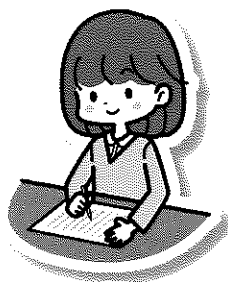
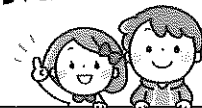


税金に関するクイズに答えて商品券や図書カードをゲットしよう!

「第5回小学生の税に関する作文コンクール」を実施

事業名：第5回小学生の税に関する作文コンクール
募集期間：令和7年5月20日（火）～10月31日（金）
対 象：管内小学5年～6年生（4年生以下も可）
要 項：400字詰め作文用紙（原稿）に2枚以内

税金の使い方。
みんなが幸せになるために、
みんなで考え始めなきゃ。



「税に関する作文コンクール」は、これまで中学生や高校生を対象に実施されていますが、全国的に見ても小学生を対象として実施している団体は少ない状況です。熊本法人会は管内（熊本西・熊本東税務署の管轄区域）の小学校で租税教室など租税教育に力を入れていることもあって、熊本市教育委員会と上益城郡内5町の教育委員会の後援を経て、令和3年度から同事業に取り組んでいます。管内の小学校に無料配布される「子ども新聞」やホームページに募集案内を掲載するとともに、夏休みに入る前に管内の小学校に募集チラシを郵送

して働き掛けました。

その結果、今回は174作品の応募がありました。応募作品は、身近なところで税金が役立っていることに気づいたことや、納税の大切さを考えながら綴られた作品ばかりでした。応募作品の中から22作品を選入とし、入賞者には賞状と副賞を、また、応募者全員には参加賞として「税に関する下敷き」等を贈りました。

【熊本法人会会長賞】 『『103万円のかべ』を知る』

熊本市立健軍東小学校 6年 新名 乃惟さん

私は、6月に学校で租税教室を受けました。教えていただいたたくさんの税の種類の中で、私は所得税のことが気になりました。働いた給料のうち、国に納める税のことです。そのとき、私は初めて『103万円のかべ』という単語が所得税のことについてなのだと知りました。

そこで、103万円のかべについてもっとくわしく知りたくなり、ネットで調べたりニュースをよく見たりするようになりました。調べた結果、私は所得税をはらわなければいけない『かべ』を引き上げて、手取りを増やしてほしいと考えます。理由は、普通に働いた場合の1年間の給料がちょうど103万円前後の人たちは、103万円にとどかないように、働かなくなってしまっているからです。1年間の給料が104万円になるとすると、102万円の時よりも手取りが減るので働く量が減ってしまい、勤務場所が会社であれば会社の仕事が進みません。国としても納められる税が少なくなります。

一方で、所得税をはらうかべを上げると、一人一人の手取りが増える上に、企業が活性化します。そして、今まで納められていた分の税が納められなくなり、税が足りなくなった場合は、直接政治に関係しない、負担の少ない税（例えば酒税）などの納める量を増やせばいいのではないかと思います。

税を知ること、今の社会を知ることにつながるのでもっと税について知りたいです。

【金賞】 「ぼくだったらこう使う税金の使い道」

熊本市立西原小学校 5 年 テヨ 憲都 さん

1学期の終わりにこのような出来事がありました。それは、ぼくの大好きな給食の野菜が出てなくなったことです。最初の時は「今日だけかな!」っと思いました。でもそれは1日だけではありませんでした。何日も続き悲しい気持ちになったまま1学期が終わりました。あとからお母さんに聞いたところ給食室の温度は、エアコンがないから50度以上になることがわかりました。そんな中で給食の先生方の熱中症の危険もあるし、野菜も暑さのせいでしたんでしまいます。だから野菜がない給食だったのです。

そこで、ぼくは思いつきました。それは国民みんなが納めている税金を使ってエアコンを給食室に設置することです。とくに夏場は火を使う給食室なので高温になってしまいます。夏場だけでもエアコンがつくと給食室の先生たちが快適に料理ができます。また、すずしい中で作るので熱中症にもかからないと思います。野菜もいたむことなく調理されぼくたちのおかずとなっておいしく食べれると思います。夏場のエアコン代は高いとよくテレビで聞きます。なのでエアコンの電気代にも税金が使われるといいなと思います。

「税金」と聞くとなんだかむずかしく感じるけど、今回の出来事のおかげで身近に感じる事が出来ました。

よく税金のむだ使いと聞くけれどそのたびにその税金がいつどこで何のために使われているのか考えてみようと思います。

ぼくは、まだ子どもだから払っていないけれど大人になったら払う時がきます。その時は税金が正しい使い方がされる日本でいてほしいです。

【金賞】 「病院や介護に使われる税金」

熊本大学教育学部附属小学校 4 年 山本 彩聖 さん

私は、歯医者さんで、いつも歯石取りや、歯のちりょうをしてもらっています。

ちりょうが終わった後にお金を払いますが、いつも 700 円です。

お母さんに聞くと、700 円ではちりょうはできないけれど、700 円をこえた金がかくは、大人の人が税金をはらっていて、その中から支はらわれている、と教えてもらい、初めて聞いたのでおどろきました。

病院に行って、予防注射を打った時も、無料になったりする事が調べて分かりました。

税金は、みんなを大事に守ったり、健康にしてくれたり、たのもしく感じて、「ありがとうございます。」

と感しゃしたくなりました。

この時に使うひまわりカードは、18 才まで使えるそうです。

健康ですぐすのが一番ですが、いろんな事がいつおきるのかわからないので、税金のおかげで、安心して病院に行く事ができます。

私のおじいちゃんは、私が 2 年生の時の冬くらいに、げんかんでつまずいてけがをした時、足が悪くなり、ねたきりになりました。

毎日、介護の人がおじいちゃんの家に来て、お世話をしてくれていました。

この介護をするお金も税金から少し出ていることがわかりました。

おじいちゃんは、働いていた時に老人福祉しせつに、毎年バスタオルを送っていました。20 年以上続けていたので、民生福祉功労賞をもらってきた事がありました。

おじいちゃんのその時の笑顔が忘れられません。おじいちゃんは3年間ねたきりでがんばりましたが、今年の3月に亡くなりました。

最後は病院に入院しましたが、入院している病院代も税金から少し出ているみたいでした。私も大人になったら、税金をはらって、みんなを助ける人になりたいです。

地域の経済社会環境の整備改善等を図る事業

令和7年度 新春講演会

開催日：令和8年1月21日(水)
時間：13時30分～15時00分
場所：熊本ホテルキャッスル
参加者：485名



講師の須田慎一郎さん



講演会の様子

テレビなどでお馴染みの経済ジャーナリスト「須田慎一郎」さんを講師にお招きして、「いま起こっていること、これから起こること」というテーマで講演会を開催しました。

－ 講演概要 －

冒頭で、須田氏より、90分間の講演予定であることが説明され、堅苦しくならずリラックスして聞いてほしいとの呼びかけがあった。講演をより良い雰囲気を進めるため、会場にも柔らかい表情で聞いてほしいとのユーモアを交えた依頼があった。

○ 経済予測はなぜ当たらないのか

今回のテーマ「いま起こっていること、これから起こること」について、一般的な経済講演会では景気見通しや株価予測が中心になるが、本講演ではそれだけにとどまらないと前置きがあった。

これまで新聞、テレビ、専門家による経済予測は数多く発表されてきたが、実際に的中した例は極めて少ない。

その理由は、①鉱工業生産指数、②雇用統計(有効求人倍率・失業率)、③金融動向 などの経済指標のみを基に予測を立てていることが問題である。

経済は政治と表裏一体であり、政治動向を無視して正確な予測は不可能である。

○ 政治と経済の関係

政権の政策内容、実行力、政権基盤の安定性、政治家個人の判断や状況が経済に直接影響を及ぼす。経済のみを分析しても不十分であり、政治分析を組み合わせなければ正確な見通しは立てられない。そのため、本講演では政治情勢も含めて分析する旨が示された。

○ 解散総選挙を巡る情勢

本来であれば次年度予算案を年度内に成立させることが政府・与党にとって最優先事項であるはずである。予算成立後の解散が一般的と考えられるが、なぜこのタイミングで解散に踏み切ったのかという疑問が提示された。

政治的背景や政権戦略が存在するとの示唆があり、政治要因が経済見通しに大きな影響を与えるとの文脈で説明が進められた。

○ 日本の景気はどうなるのか

よく「失われた30年」と言われているが、一体いつから始まったのか。教科書では、「景気は良い状態と悪い状態を循環する」と書かれている。日本は、戦後これまで8回の好景気があり最後はバブル景気で、その後は需要と供給のバランスが崩れてしまった。リーマンショックの際は日本にも大きな影響を与えたが、アメリカは5年で上昇に向かった。これは景気が循環したからである。日本では物を作っても買う量が減ってきた。売上を確保するために「価格を下げる⇒利益が下がる⇒業績が悪化」のスパイラルに陥り、個人も企業もお金を使わなくなった。

誰がお金を使うのか。大学の教科書では「景気が悪化したら国がお金を使う」と書かれている。これから長いトンネルを出て、経済が良くなるのか、今、重大な局面にある。

そのほか、日本経済の二極化現象、個人世帯への手取り増加の効果や消費税減税の意味合いなどについて、ユーモアを交えた説明があり、参加者の皆さんは最後まで真剣な眼差しで聴講されていました。

学校へ書籍の寄贈

目的：次代を担う児童・生徒に対して、健全育成の増進を図り、地域社会の健全な発展に資することを目的として、小学校・中学校の要望に応じて書籍等を寄贈する。

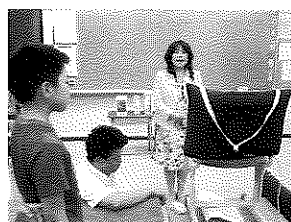
学校への書籍の寄贈に当たって、支部長の方々に支部内の小・中学校への書籍寄贈の要望についてアンケート調査を行った結果、17支部から寄贈の応募がありました。寄贈先の決定に当たっては、事業研修委員会において、青年部会及び女性部会からの推薦も踏まえ、対象校の厳正な選考を行い、小学校9校、中学校1校に決定し寄贈しました。そのうち、小学校7校では贈呈式も開催されました。贈呈式は、校長室で開催されたり、各教室にライブ配信されるなど、それぞれに工夫して行われました。



一新小学校



黒髪小学校



嘉島西小学校 (校内ライブ配信の様子)



清水小学校



託麻北小学校



御幸小学校

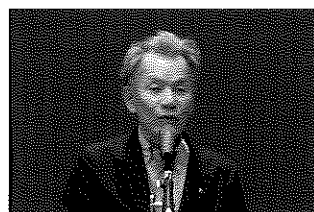


出水中学校

会員交流及び会員支援のための事業

業種交流会の開催

事業名：異業種交流会
開催日：令和8年2月4日(水)
場 所：ホテルメルパルク熊本
参加者：32社44名(役員企業含む)



木下組織委員長のあいさつ

会員の交流及び会員増強のために「異業種交流会」を開催しました。今回は、令和6年度以降に入会された会員の皆さまと本年度の新設法人説明会に参加された非会員の皆さまを対象に案内し、新規会員等18社20名のほか、組織委員、副会長、青年部会・女性部会の役員及び受託会社など総勢44名が参加しました。

交流会は、木下組織委員長の挨拶に始まり、その後、1社ごとに自社紹介を行いました。自社紹介では、各社の特徴や得意とする業務、新たな商品の説明などが説明され、参加された皆さんは熱心に耳を傾けていました。

自社紹介の後は、左座組織副委員長の乾杯で、懇親会に移りました。懇親会においては、参加者の皆さまが積極的テーブルを回りながら、名刺交換、会社のパンフレット等による業務説明など、賑やかに自社のPRに取り組みられていました。盛況のうちに閉会となり、相互の交流の良い機会になりました。



自社紹介の様子



説明を聞き入る皆さん



展示コーナー



交流会の様子

女性部会だより

『租税教室』開催 (R7.5.22～R7.7.10) テーマ:「税ってなに?」

開催学校:田迎小学校、武蔵小学校、飽田南小学校、日吉東小学校、奥古閑小学校、黒髪小学校、本荘小学校、清水小学校、健軍東小学校、田迎南小学校、嘉島西小学校、麻生田小学校、古町小学校、田迎西小学校、飽田西小学校、川口小学校、碩台小学校、山都町立中島小学校、(全18校)

講師:女性部会員、税務署幹部職員

開催校の皆さんから、租税教室の感想文をいただきました。代表で18名の感想文を掲載します。



田迎小学校
5/22(木) (児童72名)

下川 心寧 (田迎小学校)

今回は、私たちのために、税金のことをたくさんおしえていただき、ありがとうございました。「税金」についてのショートアニメを見た時、税金が使われているものは、私たちのとても身近なところにあるんだと、気づきました。いつもの日常は、当たり前ではなく、たくさんの人々の支えの上で成り立っているんだなと思いました。これからは、自分にできることを考え、行動していきます。



武蔵小学校
5/29(木) (児童63名)

松岡 愛佳 (武蔵小学校)

社会で税の種類みたいなの、税は、どこにあるのかとか、国税と地方税の大きく2つに分かれてあるとか習ったけど、忘れていたから今日の授業でまた勉強になってよかったです。動画もわかりやすかったです。税金がなくなると本当にあんな生活になるんだなあと思ひっくりしました。税金がない生活は、道とか通るだけでお金がかかるからめちゃ大変だなと思いました。税金は、めちゃ大切だということが分かりました。



飽田南小学校
6/4(水) (児童41名)

池田 静咲 (飽田南小学校)

私は最初、税金は必要なのは知っていたけど、その税金がどのように使われているのか、どうしてそんなに多くの税をはらっているのか疑問だったけれど話を聞いて、たくさん集まった税金は、わたしたちが健康に過ごすために使われていることがわかりました。多くの税をはらうのも自分たちのためだとわかりました。私も大人になった時に、税金をきちんとはらおうと思いました。



日吉東小学校
6/10(火) (児童93名)

上原 せいな (日吉東小学校)

法人会のみなさん、今日は本当にありがとうございました。私は、税金のことをあまり知らないし、知る機会もなかったの、今回、法人会のみなさんに教えていただいて、とても勉強になりました。前までは、「税金があるくらいなら、ほかのことに使いたい」と思っていたけど、今回のDVDや法人会の方たちのお話を聞いて、「ああ。税金は、だれかのために、だれかを助けるためにあるんだな。」と思い直しました。「法人会」という名前前は知っていたけど、まさか、税金のことについて、話し合う会だとは思いませんでした。これからは、税金を大切に、これからの日本を変えていけるような、そんな存在になりたいと思いました。

中田 葉月 (奥古閑小学校)

私たちの学校に、6年間で1人あたり550万円というのが、すごくびっくりしました。最初は、税金でお金を取られちゃうしいやだと思っていたけど今日勉強して、税金の大切さをあらためて知ることができました。これからは税金などで、楽しくて明るい未来を作っていくことができる社会になりたいです。



奥古閑小学校

6/10(火) (児童 21 名)

福田 結衣 (黒髪小学校)

私は「税金」の大切さをあまり感じていませんでした。けれど今日教えてもらって税金がなかったらどうなるかを知ることができました。私たちの暮らしを支えている事を学んだので、税金でまかなわれている教科書や公園などを大切にして、感しゃの気持ちを持ちながら生活していきたいと思いました。家族にも教えてあげたいです。



黒髪小学校

6/17(火) (児童 78 名)

田口 碧彩 (本荘小学校)

私たちが6年生活するだけで、550万円もいることがびっくりしました。それに消防士や警察官の人たちに火を消したりじけんをかいけつしてもらうためには税金が必要だとあらためてわかりました。また税金は知っているつもりでしたが、2つしか書けなくて、びっくりしました。今日の学習をもっと勉強していきたいと思いました。



本荘小学校

6/19(木) (児童 12 名)

江連 はづき (清水小学校)

今日はクイズや動画などでおしえてくださり、ありがとうございました。とても分かりやすい説明で勉強になりました。税金ははらわないといけなけれど、「私たちが安全でけんこうにくらすために、必要なお金」ということをあらためて、じっかんしました。大人になった時に、ちゃんと税金をおさめ、ふじゆうの無い生活をしていきたいと思いました。今日はほんとうに、ありがとうございました。



清水小学校

6/23(月) (児童 90 名)

新多 乃惟 (健軍東小学校)

私は、税に関する授業を受けるのは始めてでした。税金のしくみとかを教えてくださいませんかと思っていたら、もっと簡単に、ビデオといろいろな税の種類を教えてくださいまして、分かりやすかったです。予想以上に税の種類があっただろきました。国税と地方税も初めて知りました。また、所得税の説明を聞いたときに、「103万円のかべ」って所得税の話だったんだ〜と気がきました。意外と税は身近にあふれていると今回の授業で分かったので、改めて税がなくなると今より良い社会は作れなくなると感じました。



健軍東小学校

6/24(火) (児童 45 名)

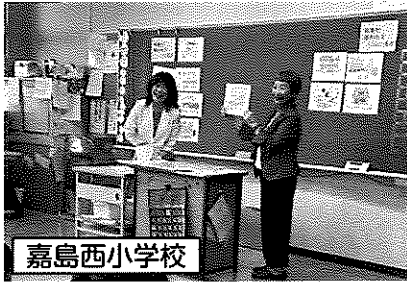
渡辺 滉大 (田迎南小学校)

6月25日に田迎南小学校に来ていただきありがとうございます。税についてはあまり考えていなかったけど税がなくなると日々の日常がこわれてしまうのがわかりました。一番印象に残ったのが道路も税で管理されているところが残りました。この授業で税について深く学ぶことができました。親にも税クイズをしたいなと思いました。税について教えてくださいありがとうございました。



田迎南小学校

6/25(水) (児童 133 名)



6/26(木) (児童72名)



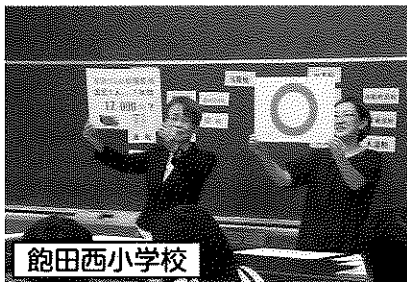
6/26(木) (児童67名)



6/27(金) (児童20名)



7/2(水) (児童89名)



7/4(金) (児童21名)



7/8(火) (児童11名)

山下 はんな (嘉島西小学校)

動画を見て、税金がなくなるとどうなるのかがとてもわかりました。そして税金で使われているものや仕事はどれだけ大切なのかあらためて知りました。学校やつくえ、いすは税金が使われているのは知っていたけども、けいさつや消防、救急車なども税金が使われていることは初めて知りました。税金についてさいしょはあまり知れてなくて、税金は、ノートや教科書を作るお金だと思い少ないイメージがあったけど、今日、そぜい教室で税金のたくさんの50種(約)の税金について知りました。今日このそぜい教室をやってよかったですと思いました。

わたなべ かれん (麻生田小学校)

今日、心にのこったことは2つあります!1つ目は、税金がなかったらどうなるのかです。なぜなら税金がなかったら、祖母も動かないといけなくなるからです。2つ目は、クイズです。理由は、全問せいかにできたのでとてもうれしかったです!税金教室をべんきょうして、最初は、税金がなかった方がぜったいにいいと思っていたけど、税金がないと、良い町にならないし、たいへんになることが分かりました。

東 明紗妃 (古町小学校)

今月の税金のお話をお聞きして、税金=私達の暮らしの幸せの一部であると思いました。国税や県税などいろいろな種類の税があるからこそいろいろな所で税金が使われて社会や生活を支えてもらっていることが心に残りました。これからは税金のありがたみに感謝し、税金のあり方について考えていきたいと思いました。

真島 凛香 (田迎西小学校)

今日は、税金がなかったらどうなるのかを知りました。最初は税金があったほうが良いとは思っていましたが、「はらわない方が楽かも」と少し思っていました。10円だとしてもかっぱりはらいたくないという気持ちも少しありました。でも、税金がなくなった時の世界のようなすを見たら、税金によって今のあたり前の生活ができているということが分かりました。また、1人1人に使われる税金やお金の事を考えると、毎日の生活に感しゃして1日1日を大切にしていこうと思いました。

石浦 凜 (飽田西小学校)

今日の授業を通して税金が使われているもの、使われていないものが分かりました。税金はなぜあるのだろう?と聞いていたけれど税金がある事で日々の生活が成りたっている事がわかりました。この学校も学校で使っている教科書や机、イスも税金が使われていたことが今日分かってよかったです。税金で成りたっている物を大切に、大事に使っていこうと思いました。今回は来て下さり、ありがとうございました!

おく村 しゅん太ろう (川口小学校)

税金は国税と地方税に分けられ、約50種類の税金があると知りました。1億円の重さが10kgだと初めて知りました。1ヶ月で1人あたり約77,000円の税金が使われており、年間約921,000円になり、小学校卒業までに約550万円の税金を使うと知りました。学校や体育館などを「公共施設」というと分かりました。

中野 涼太 (碩台小学校)

最初は税金はなくなってほしいと思いました。ですが、DVDを見てから変わりました。税金があることで、いいことがたくさんあることが今日の授業でわかりました。とても勉強になりました。

那須 幸哉 (山都町立中島小学校)

税金の学習を通して、税金はあったほうがいいと思いました。なぜなら、税金がないとみんなが暮らしにこまるし、たくさんのお金が必要だからです。みんなが通っている学校も、税金を使っていて、つくえやいす教科書などがあります。ぼくたちは、税金に支えられていると心にひびきました。今の生活が続くように、みんなと協力して税金の使い道をちゃんとして、税金の大切さを学んでいこうと思いました。※一部抜粋



碩台小学校

7/10(木) (児童 28名)



山都町立中島小学校

7/10(木) (児童 12名)

租税教育の目的

次代を担う児童・生徒が、民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることです。

女性部会主催 講演会

「人生100年時代を健康で楽しく過ごすには」 75歳…→私もま〜だ挑戦中!!

開催日：令和8年2月27日(金)

場 所：くまもと県民交流館パレア パレアホール

参加者：126名

女性部会では、今年度2回目となる一般参加者を迎えるための講演会を開催いたしました。講師には、管理栄養士・介護支援専門員であり、JICA 日系社会シニアボランティアとしてブラジルで5年間、栄養改善と和食の普及に取り組まれた大塚雄子氏をお招きしました。

当日はシニア層を中心に多くの皆さまにご参加いただき、会場は大変にぎわいました。現在も「ゆーこの健康料理教室」をはじめ、さまざまなボランティア活動に積極的に取り組まれているお話から、健康づくりの大切さと、年齢に関係なく挑戦し続ける姿勢の尊さを学ぶことができました。

女性部会では事業研修委員会を中心に運営を行い、円滑に講演会を終えることができました。



講師：大塚 雄子 氏



講演会風景



スタッフ集合写真

第17回 税に関する 絵はがきコンクール 表彰式

熊本法人会管内の小学生が応募した 3,822 作品
の中から選考されました。(対象:小学5・6年生)

開催日:令和7年11月8日(土)
場 所:くまもと県民交流館パレア

私たちの毎日の暮らしの中では、色々な所で税金が使われています。税金でつくられたものをテーマとした絵はがき作品の応募がありました。女性部会では、10月7日に選考会を開いて、最優秀賞・西東税務署長賞・女性部会長賞・優秀賞・法人会賞を選びました。



大脇英二副署長(熊本西税務署)の挨拶



集合写真

○ 熊本法人会最優秀賞:松村 理央さん(西里小学校 5年)

※作品は最終ページにカラーで掲載しています。

○ 熊本西税務署長賞



武蔵小学校
田中 瑛介さん

○ 熊本東税務署長賞



嘉島西小学校
谷本 寿日さん

○ 女性部会長賞



力合西小学校
桑崎 佳歩さん

○ 優秀賞 (20 作品)



清水小学校
三原 茜さん



川尻小学校
井上 愛梨さん



力合西小学校
大田 明奈さん



川尻小学校
吉川 結さん



富合小学校
河北 優奈さん



鮎田東小学校
白石 圭さん



鮎田東小学校
宮園 姫愛さん



帯山西小学校
平林 奈々さん



嘉島西小学校
三山 桃奈さん



北部東小学校
釘宮 美晴さん



長嶺小学校
西村 遼太さん



力合西小学校
坂田 紬希さん



西里小学校
西本 圭凜さん



鮎田東小学校
江本 奏さん



鮎田東小学校
後藤 仁那さん



嘉島西小学校
神菌 乙葉さん



力合西小学校
池野 心葉さん



川上小学校
井本 千晴さん



川尻小学校
入江 陵太さん



川上小学校
今村 あきのさん

学校賞 (18校)

山都町立中島小学校
若葉小学校
甲佐小学校
大江小学校
鮎田西小学校

嘉島東小学校
帯山小学校
西里小学校
鮎田東小学校
熊本市立中島小学校

富合小学校
田迎南小学校
滝尾小学校
砂取小学校
一新小学校

力合西小学校
銭塘小学校
清水小学校

青年部会だより

忘年会

開催日：令和7年12月17日(水)

場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

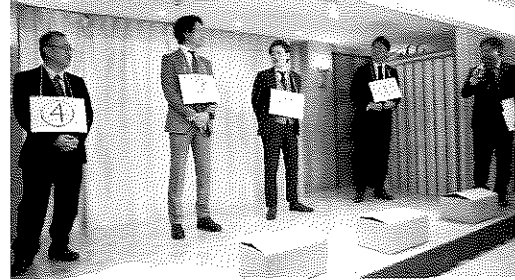
参加者：73名(青年部会員61名、OB・OG12名他)

毎年恒例の忘年会を開催しました。目標人数を上回る参加があり、会員、OB・OGの親睦を深めることができました。また、今回はオブザーバーの方7名にもご参加いただきました。

余興は「うそつきは誰だ!?熊本法人会青年部 第一回委員会対抗 ライヤーゲーム」と題し、4択の中で一人だけ嘘をついている人を委員会毎に当てるというゲームを行いました。ライヤーの迫真の演技に会場全体が大いに盛り上がりました。



三好部会長挨拶



余興の様子



献血支援活動

開催日：令和8年1月30日(金)

場所：住まいるパーク ゆめタウンはません

受付人数：137名(献血者数102名)

献血支援活動は青年部会の柱となる恒例の社会貢献事業です。厚生委員会が中心となり、会員企業に働き掛け、今年も多くの方々にご来場いただきました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



青年部会 厚生委員会スタッフ



受付の様子

南九連「青年の集いin別府」

開催日：令和8年2月6日(金)

開催場所：ラクテンチ(大分県別府市)

参加者：13名

南九連(熊本、大分、宮崎、鹿児島)青年部会主催「青年の集いin別府」が開催され、熊本県代表として、本会青年部会が租税教育活動プレゼンテーション発表を行いました。夏休みに小学生を対象に実施した租税教育活動をしっかりPRすることができました。



青年の集いin別府参加者



宮本税制委員長 プレゼン発表の様子